

8月1日あの夏、語り継ぐ平和への想い

昭和20年の長岡空襲で、長岡市は市街地の約8割が焼け野原となり、1,486人の尊い命が奪われました。

あの夏から73年—。今年も8月1日がやってきます。7月1日に行った追慕の集いでは殉難者をしのぶとともに、殉難者遺族の安藤恭三さんが市内の中学生や市民に体験を語りました。

岡庶務課 ☎39・2203



長岡空襲殉難者追慕の集いには150人が参加

両親は炎の中、私たちを待っていたのでは—
73年経た今でも気にかかっています

空襲殉難者遺族・安藤恭三さん

私の父は、大正15年頃から紙箱製造を長岡で開業し、昭和10年頃から本町の平潟神社前の工場兼自宅で営業を始めました。ところが戦況の拡大で立ち退くことになり、私が16歳の昭和20年夏、移転先の旭町の家へ徐々に荷物を運び出していました。

昼のように燃えた夜空

作業3日目の夜、私は2歳下の弟と、警備のため旭町の家泊まり込んでいました。眠ろうとした途端、空襲警報で飛び起きた。8月1日、長岡空襲です。弟を叩き起こし外に出てみると、空一面が火炎に照らされて昼のよう。私たち兄弟は何も持たず、大勢の人波の中、必死に栖吉川の土手まで逃げました。

街の方を見ると、B29の編隊がやってきて、燃え盛っている長岡の街に向かってさらに、焼夷弾を落としていきます。「もう大震災なんだから、そんなに落とさなくていいのに」、そんな風に思いました。親のいる街の中心部にはとも戻れないと諦め、東片貝の叔父さんの家へ。しかし、そこに親たちの姿はありませんでした。翌2日、新組の父の実家の人が訪ねてきてくれました。

見つかり、上半身は焼け崩れ、下半身は埋まった状態、腹巻きやばんの中身などから父と分かりました。遺体は境内で大勢の人とともに焼き、数日後に遺骨を引き上げに行きました。遺体の位置の見当は付けていませんでしたが、それが家族が分からないまま無心で空き箱に収めました。

空襲が始まった時に両親は、旭町の家に留守番に行っている私と弟が本町の家に戻って帰ってくると信じて、待っていたと思います。そうこうするうちに時間が過ぎ、危ないからと平潟神社の防空壕を人々が追い出された後、空になったその防空壕へ、周りが火の海になってから逃げ込み亡くなったのではないかと推測しています。それなのに私と弟は逃げる人の波に巻き込まれ、親のいる方向とは反対のほうに行ってしまった。そのことは今でも気にかかっています。

—あれから73年、平和を想う—

空襲の後、親を失った私と弟は、叔父さんの家に3年間お世話になりました。そして昭和23年、坂之上町で紙箱の製造業を再開します。

たが、そちらにも親たちは来ていないとのこと。不安は募るばかりでした。

ろうそくのような真っ白な顔

3日の朝、親戚たちと長岡の街に向かいました。見渡す限りの焼け野原で、まだ火の手があちこちで上がり、道端には逃げ遅れた人たちの焼死体が転がっています。本町の家に着くと、工場の機械が焼けただけ立っているだけで、あとは全部燃えてありません。近所の人に、家族は平潟神社に逃げたようだと聞き行ってみると、足の踏み場のないほどの焼死体で、しかも連日の猛暑に死臭が立ち込めて、息をするのも苦しいほど。その中を家族の姿を求めて懸命に探しましたが見つからず、その日は諦めて帰りました。

4日、再び平潟神社に行くと、消防団が防空壕から遺体を掘り出していました。その中に私の家族、4人がいました。母、弟妹は防空壕の奥にいて、酸欠で窒息したらしく、ろうそくのように真っ白くてきれいな顔でした。触つたらとても冷たく、「ああ、やっぱり死んだのだ」と実感したことを覚えています。父は防空壕の出口付近で

開します。たまに不良品が出ると、お客さんに「親父さんが泣くよ」と言われ、父は仕事の信用の中に生き続けているんだと感じました。今は社員や家族など大勢の人に支えられ、好きな箱作りに励んでいます。平和で楽しく生活している姿に、両親も喜んでくれると思います。

8月1日は、慰霊の火花を見るため、家族に近くまで連れていってもらっています。昔は、前夜祭にも会社で参加したものです。若い人たちには戦争の悲惨さを学ぶことも大切ですが、身近な平和の大切さを考えてもらえるとうれしいですね。

今年から前夜祭の名称が平和祭に変わると聞きしました。長岡市は8月1日を恒久平和の日として、さまざまなかたちで長岡空襲を語り継いでいます。戦争の体験者が減っていく中、空襲があった日に、市民みんなが平和の尊さを想い、伝えていくことは、私たち殉難者の家族にとってありがたいことです。私も、平和ほど尊いものはないということを実感しながら、次の世代へ、この経験と想いを引き継いでいきたいと思います。



空襲殉難者追慕の集いで体験談を話す安藤さん(89歳)。長岡空襲で父(44歳)、母(41歳)、弟(10歳)、妹(8歳)の4人を亡くしました

